

85.1kg の外来魚を駆除 琵琶湖の生態系を保護 第25回びわ湖クリーンフィッシング大会

連合滋賀青年委員会は、5月31日、琵琶湖岸6会場で、恒例の「びわ湖クリーンフィッシング大会」を開催いたしました。

この大会は、「環境保全」と「生態系保護」を目的とした外来魚駆除の魚釣り大会で、6会場の外来魚総重量は85.1kgでした。

1990年の第1回大会より、今年で25回目となりました。天候にも恵まれ、481名の方にご参加いただき、子ども連れの参加者も大変多く見られました。

釣果としては昨年より10kgほど少なくなったとはいえ、80kgを超える外来魚の駆除ができました。

近江八幡会場では毎年後援をいただいている滋賀県より、三日月大造滋賀県知事も激励に駆けつけていた

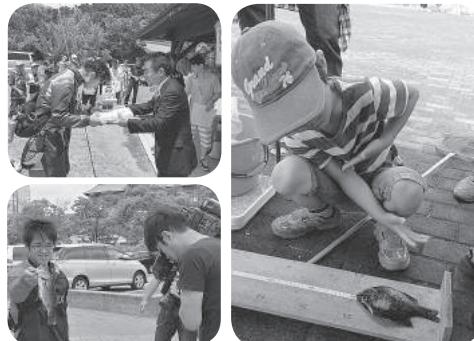


きました。また、大津会場では、びわ湖放送が取材に来られ、夕方のニュースでもこの取り組みを取り上げていただきました。

琵琶湖に昔から住んでいる「在来魚」と駆除される「外来魚」について、子どもたちに釣りを楽しんでもらいながら、親子で琵琶湖の生態系について考え、知識を深めてもらえばと感じました。

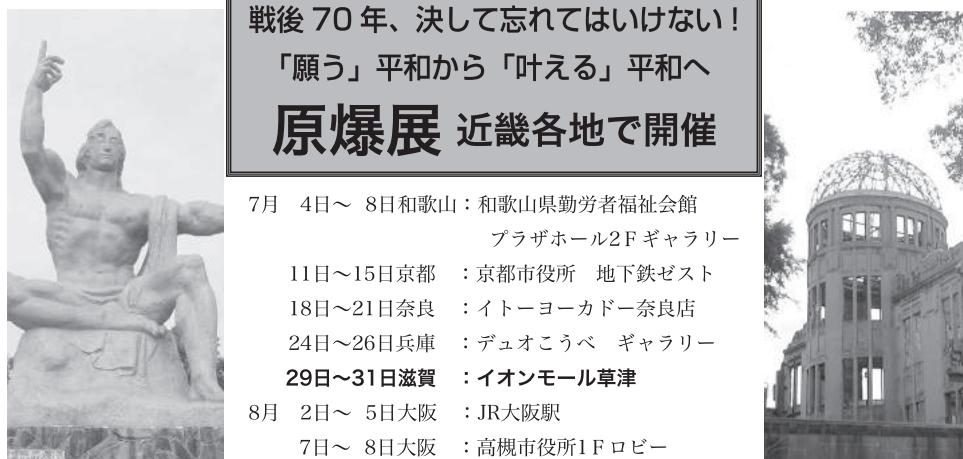
また、釣りだけでなく、会場周辺のゴミ拾いにもご協力いただきました。

今大会を通じて、釣りのマナーや琵琶湖の環境について考えていただける機会となれば幸いです。



戦後70年、決して忘れてはいけない！ 「願う」平和から「叶える」平和へ 原爆展 近畿各地で開催

- 7月 4日～ 8日和歌山：和歌山県労働者福祉会館
プラザホール2Fギャラリー
- 11日～15日京都：京都市役所 地下鉄ゼスト
- 18日～21日奈良：イトーヨーカドー奈良店
- 24日～26日兵庫：デュオこうべ ギャラリー
- 29日～31日滋賀：イオンモール草津**
- 8月 2日～ 5日大阪：JR大阪駅
- 7日～ 8日大阪：高槻市役所1Fロビー



連合滋賀

日本労働組合総連合会滋賀県連合会

2015年6月19日
連合滋賀 第259号
大津市松本2丁目10-6
電話077-523-0500
発行・山田 清
編集・上田 薫
(定価 1部6円)
印刷 ユメディア株式会社

STOP THE 格差社会！暮らしの底上げ実現 5.27 全国統一集会 県下4会場に1,000人の仲間が結集！



47都道府県の地方連合会が5月27日、「STOP THE 格差社会!暮らしの底上げ実現 5.27全国統一集会」を一斉に開催し、インターネット中継にて本部中央会場と全国220カ所の会場をつなぎ、全国の働く仲間とともに怒りの声をあげました。

連合滋賀においても県下4会場で実施し、労働者派遣法の改正をはじめ、「解雇の金銭解決」や、いわゆる「ホワイトカラー・イグゼンブション」の導入など「労働者保護ルールの改悪」を断固阻止するために、1,000人の仲間が結集しました。

5.27 全国統一集会アピール

われわれは、全国各地のメーデーにおいて、政府に対し
一、労働者派遣法の改悪をしないこと。

一、実効ある長時間労働抑止策を導入すること。労働時間規制の緩和につながる労働基準法の改悪をしないこと。

一、公的年金制度の年金積立金の運用にあたって拠出者である労使の意思が確実に反映できるガバナンス体制を構築することを求めた。そして、その実現のため、本日まで「全国統一行動」を行ってきた。

しかし、政府が国会に提出した労働者派遣法改正法案は、「派遣労働は臨時的・一時的に限る」原則を実質的に撤廃し、均等待遇原則の導入を先送りするもので、「生涯」派遣で「低賃金」を増やす改悪法案である。政府は、現行法では「大量の派遣労働者が失業」するなどと、全く根拠のない文書を国会議員に配布し、与党は委員長の職権による強引な委員会の開催を続けて、法案の成立に血眼になっている。若者たちから安定した雇用を奪うこの改悪法案の成立は断固阻止しなければならない。それが私たち世代の責任である。

また、新たな長時間労働を生み出すおそれのある「高度プロフェッショナル制度」の導入や裁量労働制の拡大が盛り込まれた、労働基準法の改悪法案も国会に提出されている。

欧米に比べ全く弱い労働時間規制にさらに抜け穴をつくり、意欲に満ちた労働者を働き過ぎに追い込む改悪法案は、絶対に認めるることはできない。政府は、過労死が毎年100人以上出ている現実を直視し、「労働時間の量的上限規制」や「勤務間インターバル規制」などの実効ある長時間労働抑止策を導入し、「残業代ゼロより過労死ゼロ」を実現すべきだ。

また、審議会で労使の委員が共同で要請した年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）のガバナンス改革に係る課題についても進展していない。その結果、被保険者の意思を反映できないまま、GPIFでは、インフラ、不動産など運用対象の多様化が着々と進められてしまっている。労使をはじめとするステークホルダーの参画の下、合議制により意思決定する仕組みを早急に構築すべきである。

われわれは、怒っている。
政府は、働く者の声を聴け!
全国の働く者が国会の審議をみているぞ!
数の力で法案を強引に押し通すことは絶対に許さない。
本日の意志結集を土台とし、滋賀の地からも、働く仲間の怒りを国会にぶつけていく。すべての働く者の連帯で安倍政権の暴走にストップをかけよう。



☆6月は男女平等月間☆ ステップアップで2段階の学習会を開催！

まずは、「組織のトップ」を対象に、次に、「指導的立場にある役員」を中心に、2段階での学習会を開催しました。

今、「ワーク・ライフ・バランス」や「女性活躍推進」などの男女平等課題が必要であることの理解を一層深め、組織の現状や課題を意識し、連合滋賀が取り組む「第4次男女平等参画推進計画」をさらに進めるべく開催しました。

講師には、日本女子大学人間社会学部 現代社会学科教授の大沢真知子さんにお越しいただき2回にわたり講演をいただきました。

【ステップ1】栗東ウイングプラザで5月29日開催

「男女平等参画に伴う社会的利益と企業利益について」

【ステップ2】草津市立市民交流プラザで6月5日開催

「女性役員を育てる男性メンターと女性自身のエンパワーメント」

講演では、女性活躍が企業収益にもたらす影響、女性活躍を推進するための政策・制度の必要性、また、男女が働きやすくともに活躍できるようにするためのワーク・ライフ・バランスの重要性などを、現政権が進める労働法制の改悪問題などと絡めながら、2回の講演を視点を変えて講義をいただきました。



標語・川柳 大募集！

男女平等への意識は高まっているものの、まだまだだと思うところも多いのが現状です。

個人ひとりひとり、組織や行政、ともに意識を持ち、より一層「男女平等参画社会」に向けた運動が必要です。男女平等参画への意識向上の一環として「標語・川柳」を募集中!!!

みなさんの思いを標語・川柳にのせてください

◆◆◆募集要項◆◆◆

募集期間：6月1日（月）から8月31日（月）まで

募集内容：「男女平等」「女性参画」「均等待遇」「ワーク・ライフ・バランス」「格差是正」「セクシュアル・ハラスメント」「マタニティハラスメント」等を題材としたもの

応募方法：連合滋賀へFAX・MAIL、または、構成組織・単組支部を通じてお送りください。

Fax: 077-523-5600 Mail: info@shiga.jtuc-rengo.jp

選考：男女平等推進委員会および女性・青年委員会にて審査のうえ、最優秀作品1点、優秀作品2点を決定。優秀作品には、賞品を進呈いたします。

その他：ご応募いただいた作品は、連合滋賀の活動に使用させていただきます。



連合滋賀ホームページ

連合滋賀

検索

最新の情報を届けします！

facebook.com/shiga.jtuc.rengo

社会の問題を学び論議する次世代の組合リーダーを創る！ 2015年度「淡海リーダーセミナー」(2期生)開講



昨年より、教育活動（人材育成）として次世代リーダーの労働教育として、「淡海リーダーセミナー」を4回連続講座のスタイルで開催しています。

【目的】

◇一人ひとりが自分たちの生活・将来を決める政治に関心を持ち社会の問題（税・社会保障・政治）を学び論議する組合リーダーを創る。

◇労働運動の価値や存在理由を再確認し、労働組合の社会的役割を理解する。

◇次世代の組合リーダーを育成する。

今年度の受講生は19名となり、第1回目は5月23日に琵琶湖ホテルにて開催しました。

中央大学法学院教授 宮本太郎さんにお越しいただき、「社会保障と税をどうするか、ポスト「一体改革」の展望」と題して講義をしていただきました。

講義後のグループディスカッションでは、活発な意見交換が行われました。

アジア・アフリカ支援米 田植え 多くのボランティアの方が参加

アジア・アフリカ支援米滋賀県実行委員会（連合滋賀と「食とみどり・水を守る滋賀県民会議」で構成）では、毎年、減反田を利用して飢餓に苦しむアフリカの人々へ、お米を送る運動を行っています。

5月23日、晴天の空の下、40名を超えるボランティアの協力でコシヒカリを昔ながらの手植えにより田植えを行いました。

土曜日ということもあり、子ども連れの方も多く参加していただき、最初は田んぼに素足で入ることに抵抗を感じていた子どもたちでしたが、しだいに手植えでの田植えを楽しんでいました。

秋の収穫（稲刈り）には、田植えにご協力くださった方や、興味を持ってくださった方など、多くの皆さんのご協力を願っています。

